

令和2年度 宇陀市立大宇陀中学校 自己評価書（教育活動）

| 学校教育目標 | | 夢 自主 自立～夢に向かい 自ら主体的に活動し 自立しようとする生徒の育成～ | | | | | | |
|-------------------------------------|-----------------------|--|---|----------------------------------|--------|--|--|---|
| 運営方針 | | 学校教育目標の実現を目指し、教職員を適材適所に配置し、その英知を集結して創意あふれる教育活動を展開する。 <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員の経営参画による学校経営 ・生徒の自尊感情の高揚と人権が尊重される学校づくり ・授業の充実、改善を図り、生徒の「確かな学力」の保障 ・施設・設備の充実と学校安全の推進 ・家庭や地域との信頼関係の構築及び地域に根ざした特色ある教育の推進 | | | | | | |
| 前年度からの課題 | | <ul style="list-style-type: none"> ・指導方法の改善に向け、授業研究等を推進する。 ・生徒の自主的な活動を活性化させる。 ・保護者・地域などとの連携を密にする。 ・家庭学習（特に復習）を習慣化 | | | 本年度の重点 | | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着と授業力の向上 ・自主的・主体的に行動できる生徒の育成 ・学習規律と基本的生活習慣の確立 ・人権意識の育成 ・家庭学習（復習）の充実 | |
| 大項目 | 中項目 | 小項目 | 具体的評価項目 | 評価指標 | 評価 | 成果と課題 | | 課題の改善方策等 |
| I 教育 活動 に 関 する もの | (1)挨拶の習慣化と清掃活動の徹底 | ①挨拶の習慣化 | 学校内での挨拶の実施状況 | ・生徒アンケートの結果が80%となったか。 | A | A | ○生徒、教職員のアンケート結果から85%以上という肯定的結果であった。 ○学校外での挨拶は85%以上の生徒が肯定的に答えている。 ○90%以上の生徒が肯定的に回答しており、熱心に清掃を行っている。 ○用具点検を委員会活動として行った。 | ・継続と意識の高揚（大きな声であいさつをする等）をさらにはかる。 ・清掃場所の見直しを行う。（教員数が以前に比べ減少のため） |
| | | | 学校外での挨拶の実施状況 | ・生徒アンケートの結果が70%となったか。 | A | | | |
| | | ②清掃活動の定着 | ・毎日清掃活動を行ったか | ・毎日清掃活動を熱心に行ったか | A | | | |
| | | | ・清掃用具の管理 | ・生徒活動として、学期ごとの用具点検・補充、補修ができたか。 | A | | | |
| | (2)基礎学力の定着と向上 | ①学習指導計画 | ・指導計画（シラバス）の作成 | ・各教科のシラバスを作成し、生徒に示したか | A | A | ○学年毎にシラバスを作成し、生徒、保護者に周知している。 ○新型コロナウイルス感染防止のため、臨時休校期間が長く、例年の進度に戻るまで時間がかかったが、計画通りに進められた。 ○生徒アンケートの結果からも、すべての教科で実施されている | ・家庭学習の習慣化（特に復習）や充実のための取組を充実させる。 ・自主教材の開発を積極的に行う。 ・新学習指導要領実施に向けた研修を計画的に行う。 |
| | | | | ・年間計画通りに学習指導を進めることができたか | A | | | |
| | | ②指導方法の工夫改善 | ・指導方法の工夫・改善 | ・授業の最初に、その授業での「ねらい」を示したか | A | | | |
| | | | | ・生徒にとってわかりやすい板書を心がけたか | A | | | |
| | | | | ・ICT機器・教材、コンテンツ等を活用したか | A | | | |
| | | | | ・机間指導で、個別指導を丁寧にしたか | A | | | |
| | ③学習形態の工夫・改善 | ・学習形態の工夫・改善 | ・グループでの活動を取り入れたか | A | | | | |
| | | | ・各教科のシラバスを作成し、生徒に示したか | A | | | | |
| | | | ・生徒にとってわかりやすい板書を心がけたか | A | | | | |
| | | | ・ICT機器・教材、コンテンツ等を活用したか | A | | | | |
| | (3)自主的・主体的に行動できる生徒の育成 | ①生徒会活動の活性化 | ・生徒が主体となる活動の計画・実施 | ・生徒会が中心となるあいさつ運動を毎学期実施することができたか。 | A | A | ○生徒会が中心となり、毎週水曜日と金曜日の2回実施した。挨拶する生徒が増えている。 ○生徒総会等を実施した。 ○募金活動やガイドボランティア活動、花いっぱい運動など計画的に行い、成果を上げている。 ○部活動では、運動場、体育館、テニスコートに熱中症指数計を設置すると共に、迅速な対応を心がけた。 ○活動方針等を保護者に明確に説明する必要がある。 ○新型コロナウイルス予防のため、本年度の部活動は実質6月下旬からとなったが、再開後は、元気に部活動を行えた。 | ・活動の広報を行い、地域と連携した取組にしている。 ・熱中症対策に必要な備品等をさらに整備する。 ・部活動保護者会を年間計画に位置付ける。 |
| | | | | ・執行部と専門部、部活動が連携した活動を行うことができたか。 | A | | | |
| ・生徒会や部活動が地域に貢献する活動を実施することができたか。 | | | | A | | | | |
| ②部活動の活性化 | | ・安全な部活動の実施 | ・けがや事故、熱中症等に対して適切な対応ができたか。 | A | | | | |
| | | | ・部活動保護者会を開催すると共に、一人一人が楽しく活動できる部活動となったか。 | B | | | | |
| | | | ・生徒が意欲的に取り組む部活動 | A | | | | |
| (4)人権意識の育成 | ①人権教育の内容点検 | ・人権教育推進計画の見直し | ・人権教育推進計画の見直し | ・県教育委員会の指導方針に基づいた推進計画となったか。 | A | A | ○県教育委員会の指導方針を柱にした推進計画を立てている。 ○人権ポスターや人権標語を募集し、ポスターについては全員分写真で撮影し教室に掲示し、生徒に紹介できた。 ○新型コロナウイルス感染防止のため、休校期間が長く、定期的な実施ができなかった。 | ・全教育活動の中で人権教育を位置付けるためのさらなる研修を行う。 |
| | | | ・人権意識の向上 | ・確かな人権意識を身につけさせる取組ができたか。 | A | | | |
| | ②人権に関する取組の推進 | 学習教室の充実 | ・定期的な実施することができたか。 | B | | | | |
| | | | ・子どもたちにとって魅力ある活動となったか。 | A | | | | |
| (5) 新型コロナウイルスへの対応 | 予防のための取組と人権の尊重 | 新しい生活様式の実施 | ・予防のために対策をとれたか。また感染者が発生したの配慮はできたか。 | A | A | マスクの着用の徹底、給食時の消毒、清掃時の消毒、放課後の消毒等及び感染者が発生した場合の人権保護についての配慮。 | ・継続して実施する。 | |